

教養課程：「補綴物製作に必要な下顎運動の基礎知識」

抄録

歯科技工士が補綴物を製作するにあたり、生体において下顎がどのような運動を行い咀嚼しているのかを理解しておく事が重要である。

生体では、上顎骨の下顎窩に対して下顎骨の下顎頭がそれに付着する各種筋肉によって関節円板を介して運動(滑走と回転)する。その運動は主に下顎窩の深さに規定され、矢状顎路と側方顎路とに分けられる。矢状・側方顎路が補綴物製作にどのような影響を与えるのか、また、咬合器で行う作業で顎路を与える影響について解説する。

専門課程：「義歯製作における人工歯排列と削合調整のチェックポイント」

抄録

義歯製作工程において、人工歯の排列とその後の咬合調整(削合)が臨床で失敗しないための要所であることは明確であり、特に総義歯は一本も歯が残っていない状況で粘膜上に咬合を再構成する、極めて自由度の高いフルマウスリコンストラクションである。

その一方で自由度が高いだけに製作される総義歯が患者に受け入れられるか、適切に機能できるかという確認作業はラボサイドでも非常に重要となる。

人工歯排列、削合調整の工程で失敗をしないためにどのような注意を払っていけばいいのか?各工程におけるチェックポイントを製作の流れに沿って解説する。